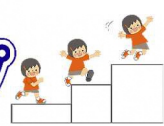


子どもたちが、将来、より多くの職業の選択肢の中から自分の夢をつかみ、幸福な人生を送るための取組です。

柏崎市立小・中学校における学力向上プロジェクト



柏崎ステップアップ



学びプラン

【柏崎市の児童生徒の学力の状況】

現状：基礎的・基本的な知識・技能の定着においては全国水準を上回っている。

課題：思考力・判断力・表現力や、知識・技能を活用する力が全国平均を下回っている。

子どもが主体の多様な学びを進めます



課題意識をもって
追究する学習



お互いの考えを
話し合う学習

自分の考えや思いを
整理し、まとめ、
表現する学習



説明・発表する学習

様々な分野の
読み物に触れる学習



多くの情報から、
必要な情報を
選択・活用する学習



発展問題に
挑戦する学習

できるまで何度も
繰り返し取り組む学習

目標

3年間で、全国平均・県平均を
3～5ポイント以上 上回る



学びを人生や社会に
生かそうとする
**学びに向かう力
人間性等**

実際の
社会や生活で
生きて働く
**知識
技能**

未知の状況にも
対応できる
**思考力
判断力
表現力**

着実な
学力向上
を目指します

育成を目指す資質・能力の3つの柱

つまずきや進度に
応じた学習



興味・関心に応じた学習



多様な人との学習



実験・体験活動等の学習



一人一人に応じた学びを深めます

他者と力を合わせるリアルな学びに取り組みます

柏崎市GIGAスクール構想

- 「ミライシード」（柏崎市が令和3年度から導入したベネッセコーポレーションの学習用ソフト）を授業でも家庭学習でも活用します。
- 感染症等で休校になった場合には、オンラインによる学習が可能になります。

一斉授業



- 教科書やプリントだけでなく、電子黒板やタブレットも使って学習課題に取り組みます。
- 資料を拡大・縮小したり、書き込んだりすることで、学習内容を理解しやすくなり、児童生徒の関心・意欲が高まります。
- 児童生徒一人一人の反応を先生が即時にとらえていくので双方向型の学習になります。

個別学習



- 同じ課題に全員が各自のペースで取り組んだり、興味関心に応じて別々の課題に取り組んだりしながら学習を進めます。
- 一人一人のニーズや学習状況、興味・関心に応じた学習を進めます。

協働学習



- 児童生徒一人一人の意見や考えを友達同士で即時に共有できます。
- グループでの話し合いや発表、協働による制作にも取り組みます。
- 全員参加の授業、お互いを高め合う学習を進めます。

家庭学習



- デジタルドリルを有効に活用して、基礎・基本の定着を図ります。自動採点されるため、理解度がすぐに分かります。できるまで何度でも繰り返すことができます。
- 学習履歴を見て学習計画を立てることもできます。

小学1・2年生は、コンピュータールームで「ミライシード」を活用します。教室では、従来通りの学習を主にしながら、電子黒板などを活用した分かりやすい授業を展開していきます。

柏崎市教育大綱

基本理念

「賢く、元気に、一層豊かに」
「現実を見つめ、理想を求める」
「自分を大切に、人に思いやりを」

子どもたちを取り巻く社会

国際化は当たり前のものとなり、物事の進展、変化は激しく、そのスピードはますます速い。アイデンティティ、個性が尊重され、価値観は正に多様化してきている。同時に、他者への関心、配慮、また、組織、コミュニティへの帰属性は薄らぎつつあると言われている。

国においては①狩猟社会②農耕社会③工業社会④情報社会に続く新しい社会、つまり超スマート社会 Society5.0時代の到来を記している（第3期教育振興基本計画）。この流れ、つまり、AI（人工知能）やAR（拡張現実）、ICT（情報通信技術）、IoT（モノのインターネット）によるデジタルの時代は生産合理性をもたらし、便利で快適な生活を導き、そして、人が行う領域を限定していく。一方、日本においても非人間的な行動、相手を思いやることのない振る舞いが事件として毎日のように報道されている現実がある。合理性の追求にのみ目を奪われた結果のようにも思える。非合理領域（情緒、感性、倫理）の価値を見失っているのではないのか。

当たり前のことだが、技術革新、イノベーション、デジタル技術は、人のためにある。人を思いやることは、少なくとも二進法ではない。柏崎市の教育はデジタル社会の今だからこそ、真に豊かな社会を作り出す、人の力、「アナログの力」の充実をまず目指す。

基本目標

- ・基礎学力をしっかりと身に付けた子どもを育む
- ・新たなこと、更なる高みに挑戦する子どもを育む
- ・他者を思いやることができ、社会規範を身に付けた子どもを育む
- ・生涯学び、向上し続けられる環境を育む

具体目標

- ・基礎学力（国語、算数、数学）向上
- ・体力向上
- ・いじめ見逃しゼロ
- ・知的好奇心の向上、健康の保持

重点施策

- ・英語よりもまずは国語（小学校）
- ・コンピュータよりもまずは算数、数学
- ・キャリア教育よりもまずは柏崎の自然、伝統、文化に触れる活動（小学校）
- ・指導補助員、介助員、ALT（外国語指導助手）の更なる充実
- ・ハンディキャップを持つ方との時間の共有
- ・部活動指導員の確保
- ・学校事務処理作業の効率化、教員支援
- ・既存生涯学習施設・スポーツ環境の充実

柏崎市は、「強く、やさしい子ども」を育てます。
教育はまちづくりの原点と考え、可能な限りの財源を投入します。

令和2（2020）年1月28日
柏崎市長

櫻川雅浩